

目 次

はしがき

第 1 章 国際取引法総論	I
第 1 節 国際取引法とは	2
第 2 節 契 約	8
第 3 節 国際取引を規律する法	13
第 2 章 国際売買 1 : インコタームズ	18
第 1 節 国際物品売買契約と貿易条件	19
第 2 節 インコタームズとは	21
第 3 節 インコタームズの使用方法	23
第 4 節 具体的なルール	25
第 5 節 コンテナ船による運送に適した貿易条件	31
第 3 章 国際売買 2 : CISG (ウィーン売買条約)	34
第 1 節 国際物品売買法の統一と CISG	35
第 2 節 条約の適用範囲 (1 ~ 6 条)	37
第 3 節 契約の成立	40
第 4 節 売主の義務と義務違反に対する買主の救済	46
第 5 節 免責と危険の移転	55
第 6 節 CISG のその他の特徴・契約法の国際的調和	56
第 4 章 国際売買 3 : 準拠法	58
第 1 節 準拠法とは	59
第 2 節 売買契約の成立、効力	63

第3節	売買契約の方式	67
第4節	物 権	69
第5節	消費者契約	71
第6節	生産物責任	73
第5章	国際物品運送	76
第1節	国際運送の種類	77
第2節	国際海上物品運送の基礎知識	77
第3節	国際海上物品運送と法	80
第4節	国際海上物品運送法	82
第6章	国際貨物保険	88
第1節	国際貨物保険契約とは	89
第2節	国際貨物海上保険契約を規律する法	92
第3節	国際貨物海上保険契約の成立と内容	95
第4節	保険金の請求と保険代位	99
第7章	国際支払	102
第1節	国際物品売買契約における代金支払の特徴	103
第2節	外国送金	105
第3節	荷為替手形	107
第4節	信用状	110
第8章	国際知的財産法	115
第1節	知的財産・知的財産権とは	116
第2節	知的財産権制度の基礎知識	117
第3節	国際技術移転	122
第4節	並行輸入	127

第9章 紛争解決1：仲裁…………… 130

第1節 裁判外紛争解決手続（ADR）の種類 131

第2節 仲裁の基礎知識 132

第3節 仲裁合意と仲裁地 137

第4節 仲裁手続 141

第5節 仲裁判断 143

第6節 仲裁判断の承認・執行 144

第10章 紛争解決2：裁判…………… 147

第1節 国際裁判管轄 148

第2節 外国判決の承認・執行 160

参考文献一覧

付属資料

資料1 国際物品売買契約に関する国際連合条約（抜粋）

資料2 国際海上物品運送法（抜粋）

資料3 法の適用に関する通則法（抜粋）

資料4 民事訴訟法（抜粋）

資料5 船荷証券のイメージ

資料6 貨物海上保険証券のイメージ

資料7 商業信用状のイメージ

索引

コラム目次

- ① 私法と公法 6
- ② 債権と物権 10
- ③ 不法行為 12
- ④ 強行規定と任意規定 15
- ⑤ ICC（国際商業会議所） 22
- ⑥ 通関 30
- ⑦ コンテナ船による運送 31
- ⑧ プラント輸出 39

9	法体系の違いを克服する努力	41
10	書式の闘い Battle of Forms	45
11	物品の権利適合性	49
12	同時履行の抗弁とは	55
13	OEM 契約	66
14	SDR とは	85
15	国際航空貨物運送	86
16	海上保険の歴史——冒険貸借	95
17	共同海損	97
18	為替リスクとリスク・ヘッジ	103
19	コルレス契約 (correspondent agreement)	106
20	スタンバイ信用状	110
21	属地主義	119
22	パブリック・ドメイン	121
23	知的財産権侵害の準拠法	128
24	国際商事調停とシンガポール調停条約	131
25	「ユニドロワ国際商事契約原則」とは	143
26	学生が学べる模擬仲裁	146
27	国際取引紛争と各国の民事訴訟制度——アメリカの民事訴訟制度の特徴	149
28	裁判権免除	151
29	特段の事情論	152
30	懲罰的損害賠償	164

トピック目次

1	ソフト・ローと「ビジネスと人権」	16
2	英文契約書	32
3	国際経済法と国際私法	62
4	物品運送中の船の座礁による油流出事故	79
5	貿易保険	101
6	ウクライナ・ロシア戦争の影響	106
7	最近の信用状電子化の動き	114
8	国際標準 (標準技術)	126
9	主要な仲裁機関	136